

地球の魔法使いの7日間上級トレーニングセミナー

チステルニーノ (イタリア)

シンクロトロン

講師：ヴァルム・ヴォタン

原文：<https://www.13lunas.net/seminarios/cisternino/index.html>

(注) 資料画像は推定して追加してあります。

5日目 714 285

NS1.22.2.19 Kin 50

白いスペクトルの犬

月のサソリの月のアルファ 19日

フラウーム 414

TFI 855, BMU 414, KE 75

フナブ・ク21の倍音の力: 自然の解放と銀河進化を目的とするアーキタイプ

惑星地球上の、ともかく人間の集まりにまた今日もようこそ。私がともかくと言うのは、現時点では人類が大きな問題そのものだからです。人類は大きな挑戦に直面し、大きな選択に直面し、大きな機会に直面しています。それはひとえに、人類がすべての過去に向き合い、「ゼロ」の本当の意味が理解できるような絶対の場所に到達するかどうかにかかっています。人類は、この課題を非常に困難なもの、破滅的なもの、終末的なものとして捉えています。

それが「ともかくも (more or less) 人間的な会合」にようこそと言っている理由です。実際、私たちは人間以上 (more than) になる機会を与えられているからです。私たちは過去 26,000 年間を人類として生きてきましたが、これまでに掃除しなければならぬゴミをたくさん出してきました。掃除のために十分な時間があるかどうかは分かりません。ですから、新しい人類が登場する必要があるのです。宇宙の法則に則った新人類が。

私たちはこれらの言葉を聞いて心に留めることができるので、おそらく「新しい」幸運な人類の一人になれるでしょう。今、私たちは突然変異を起こしているのです。

では、プラーナヤーマを行いましょう。改めて、4つの普遍的なサイクルのプラーナヤーマを行い、次に片鼻孔の交互サイクルを3回、その後、対応するプラズマを視覚

化する7つの太陽マントラを行います。今日は5日目、フラウム（HRAUM）を3回唱え、喉の中心を開いて宇宙コミュニケーターになります。

さて、今日は上級レーニングセミナーの5日目です。「上級」という用語は、過去に知らなかったことを学習していることを意味します。では、あなたが知らなかったものを、どうやって分かったと知ることができるでしょうか？自分が知らないということをどうやって知ることができるでしょうか？すでに知っていることを考えても恐らく分からないでしょう。これについて考えなければなりません。

第5前提は次のように述べます。3-7-21は441の立方1.3.3.1を確立する。これは、宇宙全体の秩序システムのコードを確立するために必要とされる最小限の動作テレパシーシステムである。これはフナブ・ク尺度としても知られている。

これはどういう意味でしょうか？とても幅広い意味合いを持ちますが、同時に非常に特殊な用途に使うこともできます。

- 「システム」と言う（「3つのコード：宇宙全体の-秩序-システム」内）では、特に立方体システム、441、1.3.3.1について言及しています。これが「システム」です。
- 「宇宙全体」は、システムを通じて達成できるテレパシーによる統合の原則を指します。
- 「秩序」と言う、システムと儀式の適用によって生み出されたヌースフィアの新人類を指します。

新しいシステムが人類に導入されるたびに、問題を伴うことは承知しています。「自分はここで何をしているのだろうか？」と自問するような何かが無意識から生まれます。これは何を言っているのでしょうか？これらすべての数字をどうすればよいのでしょうか？それらは寛容、忍耐、愛、信仰とどのような関係にあるのでしょうか？これは個人の魂には何の関心も持たない天上の階層から送られたものなのでしょうか？

このような自問自答をしなくても、自分の知らない新しいシステムが自分の「信念体系」とぶつかることで、無意識の中に混乱が生じることがあります。それは、あなたが共時性秩序について知っていると思っていたこととさえ衝突します。

従って、このような種類の経験、またはこうした種類の内なる「ショック」、または無意識から生じる可能性のあるこの種の緊張を感じても大丈夫です。このようなことが起こり得ることを知っておくと良いでしょう。

人間は複雑な存在であり、その中に独特で特異な存在形態を持っています。同様に、各人間は、その文化圏によって決定される一連の独特な文化的習慣を持っています。複雑な個人の特異性と特定の文化的条件付けが組み合わさることで、聞く教えを妨げる一種の汚染が生じます。こういうことを言うと、ほとんどの人は「彼は私のことを

言っているのではなく、他の人のことを言っているのだ」と思うでしょうが、私は私を含めた全員のことを話しているのです。

急変するさまざまな思考の流れや情報に満ちた世界に住んでいることを認識する必要があります。こうした思考の流れをコントロールしなければならないと気づくまでには、通常、一生かかります。誰もが、人生の中で誰もが「私はここで自分の仕事をします。彼はそこで自分の仕事をするのです。」といった自分自身の小さなシナリオを作成しようとします。そして、自分たちが注目されることを願っています。そしてこれが人間であるための経験と呼ばれるものです。

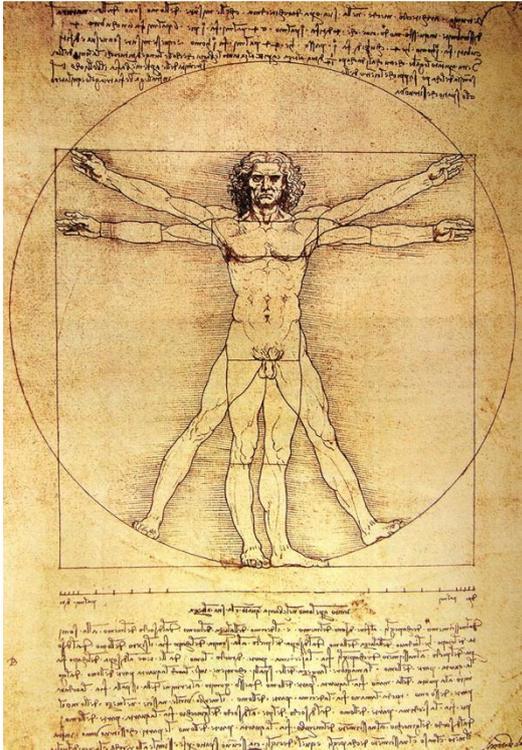
しかし、周期の終わりに際して人間として経験することは何でしょうか？私たちは頭の片隅で、2012年に何が起こるのだろうと考えています…「2012年に何をしようか？」…「でも、何が起こるの？最善の準備方法は？ポールシフトがあったら、何が起こる？地震やその他の大災害が起きたら、どう逃げればいいのか？運転中に太陽電気が来て、携帯電話が使えず誰とも連絡が取れなくなったらどうなるだろう？」むしろこの人が言うことには注意したほうがいいと思います。

2012年12月21日に何が起こるのでしょうか？私たちは皆、これに対する答えを求めています。答えが入っている小さなパッケージを開きたいと思います。そして…答えは…UFO！

私たちは皆、頭の中にこのような疑問を持ち、この種の思考の流れを持っていますが、この男はただ数字について話すだけです。そして、私は決して数字が得意ではありませんでした。ええ、数字は苦手でした。三角関数はさらに苦手で、代数学はまったく理解できませんでした。私たちは皆、同じ船に乗っています。そして本当に重要なことは、私たちは数でできているということです。宇宙のあらゆるものには必ず番号があるのです。

セザンヌは「私が自然界で目にするものは立方体、三角形、球体だけだ」と言いました。いたるところに立方体を見ていた彼は、キュビズムの真の父といえます。そして、ジョージ・ブラックとパブロ・ピカソは、それが良いアイデアだと考えました。まあ、これは歴史ですが、重要な事実は、ピタゴラスもすべてがそのようになっていると見ていたということです。

五芒星の描き方を知らない人はいますか？やり方を知っていますか？皆知っていますね。興味深いのは、人類の中でこれを行う方法を知らない子供は一人もいないということです。5、6、7歳くらいの子供たちは皆、その描き方を知っています。ほぼ本能のようです。そこには5つの頂点があり、今日は5日目です。ウィトルウィウスの原理を取り入れたレオナルド・ダ・ヴィンチの有名な画像は誰もが知っています。よく見ると、立方体とその周りに球体が配置されていることが分かります。



最も重要な点は、人間を一種の幾何学的構造として見る事ができるということです。私たちは自分自身を「ペンタッド」あるいは5つの尖った構造と呼ぶことができます。つまり、私たちは5なのです。5が私たちの数です。人間には5という数が組み込まれています。私たちは5本の指を持ち、それを使って数を数えることを学びます。さらに5本の指があることが分かります。さらに5本、もう5本…20！4掛ける5、興味深い組み合わせです。

$4 \times 5 = 20$ 。20が全体です。つまり私たちは全体なのです。私たち一人ひとりが全体です。私たちは皆20本の指を持っているので、このことを知っています。私たちは生きた数学者です。私たちは話したり、歩いたり、踊ったりする数字です。では、「なぜこれらの数字を学習する必要があるのだろうか？」と考えると、その答えは、20の意味を知りたいからです。非常に優れたコンセプトデザインです。4本の手足と20本の指があり、次に首と頭があり、5本になります(4つの手足と頭 = 5)。

これで「はい、私は数字です」と考えるところまで来ました。4本の手足と5本の指で20になります。次に、関節があります。足首2つ、膝2つ、股関節2つ、手首2つ、肘2つ、肩2つ、そして首を合わせると13になります。

私たちは実際には非常に数学的にコード化された存在なのです。私たちは、フィボナッチが対数スパイラルと呼ぶものの一部です。あなたの同胞です、ありがとう、フィボナッチ!! 私たちのお気に入りの数字のいくつかは、このスパイラルあるいは数列で見つかります。この数列は完璧なスパイラル形状を作ります。最初は1で、その前の数が足されて次の数ができます。1に1を加えると2になります。1に2を加えると

3になります。3足す2は5、5+3は8、8+5は13、13+8=21、21+13=34、34+21=55、55+34=89、89+55=144、144+89=233、233+144=377。ここで終了します。377は13掛ける29です。

フィボナッチ数列では、7番目の数は13です。従って、この数列では7と13の宇宙論が得られます。21は8番目の数で、144は12番目の数です。これは創造の螺旋であり、貝殻、外耳道、胚などの成長サイクルに関わるすべての要素のほか、自然全体で観察できる完璧な数学的構造です。5が5番目の数、8が6番目、13が7番目の数であることが分かります。

音楽的には、5がペンタトニック・スケールを作ります。このスケールは最も普遍的なものです。それは他のものを作るための基本的なスケールであると言えます。3は3度で、5と合わせると8になります。これにより、ド、レ、ミ、ファ、ソ、ラ、シ、ドという全音オクターブができます。

ペンタトニック・スケールとダイアトニック・スケール（全音階）を合わせて半音階ができます。つまり、私たちは数なのです。

ウェイブスペルには13の音があることが分かります。つまり、対数スパイラルの最初の7つの項が含まれています。そしてこの構造の比率は巻貝の殻でも見ることができます。すべての貝殻は、これらの数値を明確に表現したものです。つまり、私たちが数字を研究するとき、私たちは実際には創造の秘密を研究しているのです。

この数列でも音ができます（法螺貝が鳴ります）。5-8-13という数がペンタトニック、オクターブ、半音階を作っていることが分かります。対数スパイラルは、私たちが聞くすべての音楽と同様に、すべての三次元形状を表現していることが分かります。私たちに聞こえる音のスペクトル全体は、この数列の関数です。つまり「形」も「音」もこの数列なのです。

宇宙時間のフラクタル形状であるウェイブスペルを観察すると、対数スパイラルも存在することが分かります。13日間で、対数スパイラルの最初の7つの項が出てきます。つまり、形と音に加えて、時間も関係しているのです。

従って、私たちが行うことのすべて、呼吸、動作、音を出す、ジェスチャーなどは、存在に固有の・私たちの性質に固有の数学的秩序の機能なのです。

ですから、数字を見るときには、子供のような気持ちで「すごい！7番見たことある？」と思う必要があります。私たちは創造の言語を学び直しているのです。そして、「2012年に何が起こるのか？」という疑問に戻ります。

どこへ行ってもすべてが汚染されています。地球上のあらゆる場所で、プラスチック片とあらゆるかたちの汚染（聴覚、嗅覚、視覚的な汚染など）が見つかります。工場だらけ、大気汚染、プラスチックだらけ…私はまだ、これを感じないほど十分離れた

場所を知りません。

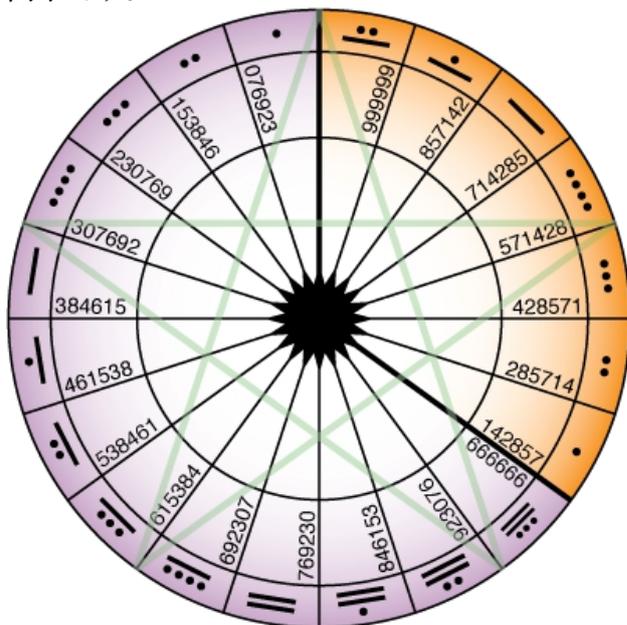
どこに行っても汚染。それはもう十分です。このことは古い創造が終わったことを意味します。それを止めるために何かが起こっています。そして恐らく、非常に多くのものを消滅させる別の何かが起こるでしょう...そして私たちは自問することができます：どのような方法で第二の創造に参加したいのだろうか？そのために、例えば貝殻がどのようにできているかを知ることは興味深いことです。どんな数を組み込んでいるのでしょうか？

これはどこから来るのでしょうか？私たちは優れた精神的能力を持っており、数字を最も単純かつ最も基本的な形式で理解することで、この優れた精神を使ってエクササイズを行ってまいります。

もちろん「先月の電気料金にいくら支払わなければならなかったか」などについて数字を考えることは、あまり魅力的ではありません。しかし、数を創造の言語として考えると、それとは異なって、おそらく私たち全員がこれに関わる必要があります。

例えば、これは正二十面体です。20の面、12の頂点、30の辺があります。興味深いことに、20面体には20の面と12の頂点があり、12面体には12の面と20の頂点があります。プラトンは、世界は十二面体のようなものだと主張しました。十二面体は、20個の頂点と30本の辺を作り出す12個の五角形の面で構成されているため、興味深いものです。十二面体が五角形や五面体図形でできているのが興味深いですね。

ホイールの図をよく見ると、五芒星が表示されています。このホイールは20個の部分に分かれており、それぞれの4つの部分が星の5つの点の1つに対応しているため、簡単です。



360度ホイールは72度の5つのセクションに分かれています。これにより、角度72度の完璧な五線譜表を得ることが可能になります。

365日からも五芒星が生まれるのも面白いですね。この場合には一単位が73日になります。それは5日間の色彩が年に73回あるということでもあります。

金星と地球の関係もこの対数スパイラルと関係しています。地球の公転は73日×5の周期であり、地球に対する金星の会合周期は73日×8の周期です。ここでは、対数スパイラルのように5から8へのステップが見られます。

ホイールを使って芸術作品を作ることができます。ここでは例として色を付けてみました。五芒星に色を付けたり、7と13のセクションを色で分けたりすることができます。これにより、7に対する4と13に対する7が一致する線を引いて、その線が円を180度に分割すると分かります。

これらのことを行うことで、私たちはこのシステムを自分自身で創造的に理解し、それが何であるかを理解していきます。重要な点は、私たちは数であり、私たちが経験するすべてのことは数の関数であるということです。

ウェイブスペルが対数スパイラルの最初の7つの数に関与していることが分かります。つまり、私たちは13日ごとにこの創造のスパイラルに参加していることとなります。13週間のサイクルが対数スパイラルのフラクタルであるウェイブスペルを作ります。太陽の周りを回る月の13周期も、対数スパイラルのフラクタルを作ります。

28日周期の13の月のシンクロメーターには宇宙の調和の重要な要素が含まれているため、ハーモニー・スタンダードと見なす十分な理由になります。宇宙の調和、球体の音楽、時間の法則は、時間の音楽とも呼ばれ、時間の建築でもあります。時間の構造は、パルサー、倍音パルサー、4日の調波や5日の色彩の巡り、ウェイブスペルなどでできています。そしてこれらすべてが、私たちの心を浄化し、第二の創造であるこの新しい時代の夜明けに向けて私たちを方向づけ、時間の動きを数として経験することを可能にする、成長する調和の相互作用を生み出します。こうして私たちは、新しい時代の創造的なテレパシーの波を感じ、体験し、参加することができるようになります。しかし、私たちは自分自身がこれに参加することを許可しなければなりません。

私たちはそれが可能であると自分自身に信じさせなければなりません。すべてはハートから来るということを知ること。対数スパイラルの発生場所はハートであるため、ハートは鼓動を伴う磁気音だと思えることができます。そこから極性、陰陽、回転、原子などが生まれます。3は極性を一つにする何らかのものです。そして、極性をトリプルダイナミクスと結合すると、イントネーションと呼ばれる5が作られ、音とペンタトニック・スケールが作られます。従って、ハートのあらゆる表現は、ペンタトニック・スケールあるいはあらゆる表現手段によって表現することができます。常にこのように数に関与しているのです。

倍音にトリプルを加えることで、創造のマイクロ・フラクタルのようなオクターブが生まれます。これは、ド、レ、ミ、ファ、ソ、ラ、シ、ドの8つの音です。誰もがいつか歌い、誰もが何かを描きます。ここにいる皆さんのほとんどは、13の月のシンクロメーターに従っています。これはすべて数学です。数学を勉強するとき、私たちは心を浄化してその基本的な状態に戻します。なぜなら5は言語とは独立して存在するからです。言語に関係なく、これが5であることは分かっています。これをどうやって知ることができるのでしょうか?私たちはそれを自分自身の中で、ハートで知っています。それは細胞の知識であり、より高度な精神的活性化から来る知識です。このより高度な精神的活性化は、私たちが創造の要素を理解するために立ち返るべきものといえます。

それはハートから生まれ、宇宙のフラクタルである音と活性化を生み出し、絶対的な宇宙の存在であり続けます。そして、私たちのすべての行動が完全に意識的になるとき、私たちは完全に宇宙的なものになります。そして、完全に宇宙的であるということは、自分自身のハートと向き合うようなものです。ここで休憩します。

どこから来たとしても、皆さん、新しい時間の旅へようこそ。

私たちは2012年のことを話していました。多くの人がこの日付のことをあれこれ予想していますが、2012年にできる最善のことは、(シンクログッズ(訳注:銀河ツールなど?)を指して)これらの1つをどこにでも持ち歩くことです。

ハリウッドで、グレゴリオ暦で今年の11月13日に封切られる映画が公開されました。監督は「インデペンデント・デイ」と同じ人なので、かなり見ごたえのある作品が期待できます。きっと映画試写室の外には映画のTシャツ(タイトルは「2012」)を着た人がたくさんいると思うので、これは良いアイデアだと思います。これを「極をとりまく虹の橋のアクティビスト」と呼ぶことができます。世界中に虹のアクティビストがどれだけいるか見てみたいと思います。

では続けましょう。

今日、私たちは脳梁の前に位置する、放射状プラズマ・アルファ(ハイパープラズマのアルファ-アルファと混同しないでください)に対応するヘプタッドゲート5を開けます。私たちは、放射状プラズマ・アルファが南極で二重拡張電子を解き放つことを知っています。ということで、このプラズマの日に、私たちは実際に心の中で二重拡張電子を南極に投影していることになります。これを電子とさらに二重に拡張した別の電子と考えることができます。そして私たちは自問します「二重拡張電子は南極で何をしているのだろうか?」。

多くの人がこれを行うことにより、南極にたくさんの二重電子が広がります。これに

より、極をとりまく虹の噴出のための電子バランスのより大きなバランスを生み出します。

最初の4日間、ヘプタッドの最初の4つのゲートには、アルファ-アルファ、アルファ-ベータ、ベータ-ベータ、ベータ-アルファのハイパープラズマが存在します。

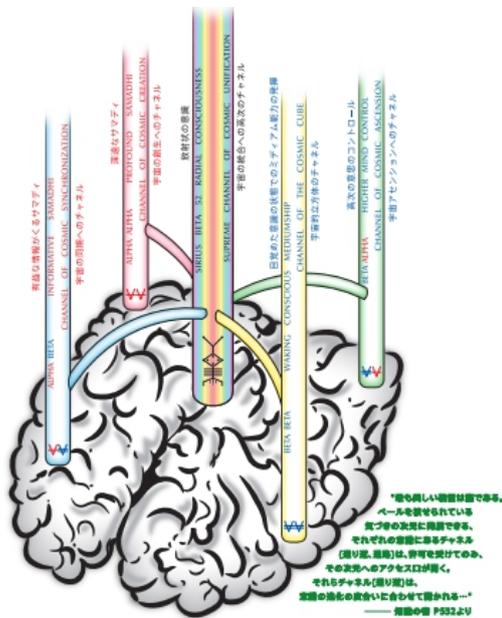
アルファ-アルファ・チャンネルは右後大脳葉にあります。

アルファ-ベータ・チャンネルは右前大脳葉にあります。

ベータ-ベータは、左前葉に位置します。

そして左後葉のベータ-アルファ。

これらのハイパープラズマの位置でああなたの第1、第2、第3、第4の精神スフィアを活性化する銀河間エーテルチャンネルを視覚化してください。



脳のエーテル的銀河間チャンネルを開く

頂上からの下降(してくる情報)に準備する

441 ベース・マトリックスのマップを見てみましょう。ヘプタッドの最初のゲートは第7次元の108で、次に291、144、そして4番目のゲートは第8時間次元にある315です。ベース・マトリックスでこれらのゲートに色を付けることができます。つまり、これらは、第7時間次元と第8時間次元間の垂直時間のバランスを取る最初の4つのヘプタッド・ゲートです。

一方、最後の3日間のゲートは第9時間次元にあり、それはクラウン・チャクラに対応付けられ、脳梁のまさに中心にあるマイクロ・ナノ・ポイントに焦点を当てます。

このヘプタッドの最後の3日間では、ハイパープラズマの代わりに、5日目には垂直V11、水平H14の座標に位置する番号414のハイパーエレクトロンがあります。6日目は、縦V11横H8の座標に位置する番号402のハイパーニュートロンです。最後に、

中央には、私たちのお気に入りの友人であるシリウス B52 自身、441 が、座標 11 縦 11 横 (V11, H11) に位置します。



この隅には 399 という数字があります。もう 1 つの隅には 405 があり、他の隅には 411 があり、ここには 393 があります。(訳注：第 9 時間次元の外周に当たる) 回路のところを説明しています。その座標は次のとおりです: V8, H8、V8, H14、V14, H8、V14, H14。

41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21
42	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	20
43	118	185	184	183	182	181	180	179	178	177	176	175	174	173	172	171	170	169	98	19
44	119	186	245	244	243	242	241	240	239	238	237	236	235	234	233	232	231	168	97	18
45	120	187	246	297	296	295	294	293	292	291	290	289	288	287	286	285	230	167	96	17
46	121	188	247	298	341	340	339	338	337	336	335	334	333	332	331	284	229	166	95	16
47	122	189	248	299	342	377	376	375	374	373	372	371	370	369	330	283	228	165	94	15
48	123	190	249	300	343	378	405	404	403	402	401	400	399	368	329	282	227	164	93	14
49	124	191	250	301	344	379	406	425	424	423	422	421	398	367	328	281	226	163	92	13
50	125	192	251	302	345	380	407	426	437	436	435	420	397	366	327	280	225	162	91	12
51	126	193	252	303	346	381	408	427	438	441	434	419	396	365	326	279	224	161	90	11
52	127	194	253	304	347	382	409	428	439	440	433	418	395	364	325	278	223	160	89	10
53	128	195	254	305	348	383	410	429	430	431	432	417	394	363	324	277	222	159	88	9
54	129	196	255	306	349	384	411	412	413	414	415	416	393	362	323	276	221	158	87	8
55	130	197	256	307	350	385	386	387	388	389	390	391	392	361	322	275	220	157	86	7
56	131	198	257	308	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	321	274	219	156	85	6
57	132	199	258	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	273	218	155	84	5
58	133	200	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	217	154	83	4
59	134	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	153	82	3
60	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	81	2
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	1

ここに見えるのはドゥム・クアリと呼ばれるもので、これはドゥム・デュアルです。こちらはクム、こちらはケミオです。



ドゥム・クアリは原初の熱の部分子 (パートン) です。



ドゥム・デュアルは原初の光の部分子です。



クムは内なる光の熱の副次的な部分子です



ケミオは内なる熱の光の副次的な部分子です。

441 マトリックスを見ると、これらが同じ回路上にあることが分かります。

今日は月の月の19日です。『知識の書』には次のように書かれています。「19は強力な立方体システムへの入り口である。フォーカルポイントとの直接接触がここから始まる。立方体システムは10個のチャンネルの知識である。」

441 ベース・マトリックスを見ると、10個の回路あるいは10個のチャンネルで構成されていることが分かります。そして中心には、そこから立方体システムが始まる11番目のチャンネル、つまり11次元のルート・チャンネルあるいは源泉があります。

私たちが見たこの回路(パートンの回路)は8番目の回路であり、内部時間の第9時間次元の外周の回路です。この回路が示し、定義するものはハイパーパートンと呼ばれます。ハイパーパートンは、宇宙の原初の電気エネルギーと電荷の超次元回路です。極性としてニュートロンとエレクトロンがあります。これによって、『宇宙科学』でマウリ管と呼ばれる軸が作られます。

銀河系を見ると、マウリ管と呼ばれる中心軸を持つ空飛ぶ円盤のようにも見えます。北極はマルカ極、南極はダルカ極と呼ばれます。ニュートロンはマルカ極を活性化し、エレクトロンはダルカ極を活性化します。

地球では、ダルカ極が南で、マルカ極が北です。従って、第9時間次元で私たちが行うこと、何が起こるかは、完全に、宇宙のすべての主要な電荷とエネルギーを含むハイパー次元部分分子であるハイパーパートンの機能なのです。

これは第8回路、第9時間次元の外周の回路です。第8回路の四隅の一つ(ハイパーニュートロン)は、原初の熱に対応する熱電荷ドゥム・クアリです。反対側の位置399には、内なる光の熱であるクムがあります。ハイパーエレクトロンは、ドゥム・デュアルと呼ばれる原初の光電荷を持ち、維持します。これは、ハイパーニュートロンが熱セルの中心を形成するのと同じように、光セルの中心を形成します。

その反対側の位置393には、内なる熱の光であるケミオがあります。従って、ニュートロンの電荷はこの方向に進み、エレクトロンの電荷はこの別の方向に進み、原初の熱と光が活性化されます。同じことが反対側(マトリックスの左側と右側)でも起こります。そして、各辺には中点があり、右側の数字396と左側の数字408に対応します。これらは変換トランスデューサポイントです。この点(左側、408)から電荷が送信され、いわゆるドゥム・クアリの力場が作られ、頭のこちら側で回転します。そして396から、ドゥム・デュアルの力場が作られます。

右側の座標はV14, H11、左側の座標は黄色い太陽のV8, H11です。

ドゥム・クアリの力場(熱的、赤で表示)は、第5時間次元と超意識領域の第5精神スフィアを活性化します。第5精神スフィアは、第1と第2の精神スフィアを調整し、

超常現象、テレパシーによる超常現象の暗示などと呼ばれるものすべてがここで管理されます。

ドゥム・デュアルの力場（光的、青で表示）は、第6時間次元と、第3精神スフィア（意識）と第4精神スフィア（継続意識）を調整する第6精神スフィア（サブリミナル意識）を活性化します。サブリミナルとは、非常に離れた場所から送信される感覚刺激あるいは信号を指します。例えば、今日のテレトノンでは19日目、立方体13にいます。これは、音節TELに対応し、遠くを見る者の力です。この力は、あなたの覚醒意識、または継続意識の高次の心に送られるサブリミナル・メッセージの力を指します。

ヘプタッドの第5ゲートはハイパーエレクトロンを活性化し、それがトゥム・クアリの力場を活性化し、それが超意識を活性化する第5精神スフィアを活性化します。

414とあるTシャツを着ている人もいるのですが、立ち上がってなぜそれを着ているのか説明してもらえますか？ヘプタッド・ゲートだからでしょうか？今日はその周波数（414）の日なので、私たちはより高い超意識の周波数にいます。超意識の「フィードバック」が働いているに違いありません。私たちは、この高次のシンクロニシティを認識することによって経験する、この感覚を維持するように努めるべきです。これをやり始めると「441日記」をやりたくなるので、このシンクロニシティの仕組みが分かるようになるでしょう。

例えば、今日のマスター調整周波数TFIは855です。これも興味深い理由です。

855は171の5倍です。

171は19の9倍です。

19は立方体システムへの扉を開く番号です。

9は、私たちがいる第9次元に対応します。

5は5日目と一致しています。

つまり全体として、それは超意識的な数字です。では、これらの数字が何であるかを見てみましょう。シンクロニック・マトリックスではBMU380なので、これは19掛ける20ということで19が見つかります。シンクロニック・マトリックスのテレパシー周波数インデックスTFIは475で、これは19掛ける25です。実は19が3つあります。その日のテレパシー周波数インデックスでタイムとスペース・マトリックスのTFI(238+142)を合わせると、再び380が得られます。これも19掛ける20です。

そして非常に多くの場合、これらの周波数を見つけると、いわゆる内部一貫性が見つかります。今日は月の19日で、ヘプタッドの5日目です。171は、三つ組順列117-171-711の3つの重要な数字の一つであることが分かっています。次のような例えが考えられます。171は414に、711は441に相当するように、117は144に相当します。これが超意識です。これをやり始めると、私たちは内部の一貫性と、意識の統一と統合のメッセージを与える内部マトリックスの優雅さを扱っていることに気づき

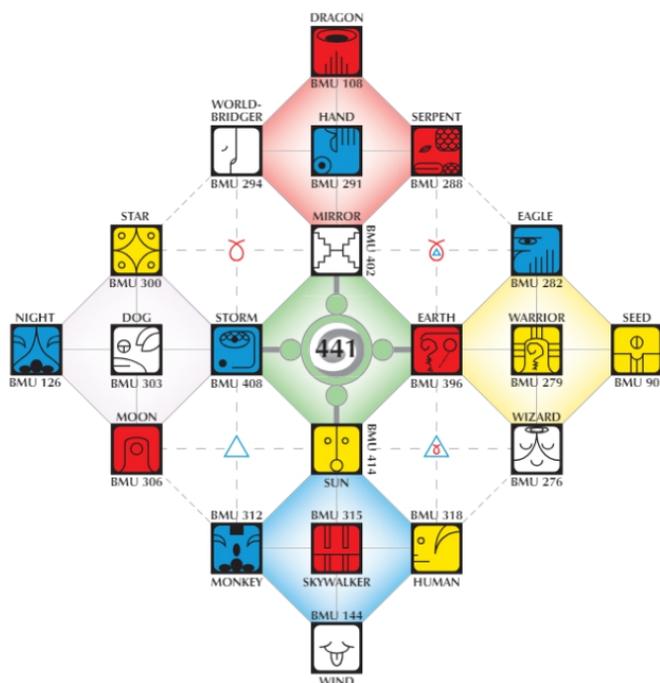
ます。これらは、今日私たちが開くヘプタッド・ゲートの意味の一部です。

同様に、今日の（訳注：ヘプタッド・ゲート5に対応する）ハーモニック・ウル・ルーンは90番で、「時間によって定義される銀河芸術の全体性」と書かれています。BMU414(今日のヘプタッド・ゲートとマスター調整周波数として既に登場)に関連しており、それは私たちが第9時間次元の第8回路にいることを示し、「エンライトウンド・ワン」に当たります。遡ってみると、初日が「プライマルフォース」に当たることが分かります。2日目は「アバター」。3日目「ハイブリーステス」。4日目の「プロフェット」。5日目は「エンライトウンド・ワン」。6日目「ヨギ/ヨギニ」、そして第7日目「無限の賢者たち」という対応です。

1. プライマル・フォース。赤い竜に当たります。
2. アバター。青い手に当たります。
3. ハイブリーステス。白い風に当たります。
4. プロフェット。赤い空歩く者に当たります。
5. エンライトウンド・ワン。黄色い太陽に当たります。
6. ヨギ/ヨギニ。白い鏡に当たります。
7. フナブ・ク 21、無限の賢者たち。

Cube Your Destiny

HUNAB KU 21 - SHOWING SOLAR SEALS & THEIR BMUs



これらは、21のアーキタイプのうち、ヘプタッド・ゲートをコード化する7つのアーキタイプです。

21 のアーキタイプの配置では、フナブ・ク 2 1 が中央にあります。マルカ極に相当する上には赤い竜があります。下のダルカ極には白い風があります。この配置では光の門と呼ばれるものがあり、次の4つになります。

- プライマル・フォース（竜）が最初の光の門を開く
- ハイブリーステス（風）が第二の光門を開く
- ドリーマー（夜）が第三の光の門を開く
- ザ・イノセント（シード）が第四の光の扉を開く

次に、4つのコートがあります:(21 のアーキタイプの構成にも含まれます)

- 第一コートはアバターのコートです（アバターが中心にあるため）
- 第二コートはコンパッションネット・ワンのコートであり、白い犬に相当します。
- 第三コートはプロフェットのコートであり、赤い空歩く者に相当します。
- 第四コートはパスファインダーのコートであり、黄色い戦士に相当します。

ですから、ヘプタッドの5日目である今日のアーキタイプは、黄色い太陽に当たるエンライトウンド・ワンです。私たちは、マトリックスの4つのドアまたはポータル：地球、鏡、嵐、太陽(これらのポータルは、トーランの21 のアーキタイプのグラフィック表現にも含まれています)の一つである5番目のヘプタッドゲートを開いています。

同時に、今日のキンである白い犬は、コンパッションネット・ワンのコート、つまり第二コートに相当します。

外側の4つの光の門は、最初の時間セルの4つの紋章(竜、風、夜、種)で開きます。

それで今日、私たちはコンパッションネット・ワンのコートにいます。エンライトウンド・ワンが今日のポータルを開き、コンパッションネット・ワンがそのポータルを通って入ります。自らに導かれ(彼はスペクトルの犬であるため)、ヒーラーである月にサポートされています(月はコンパッションネット・ワンのすぐ下にいます)。同様に、彼はエンライトウンド・ワンである太陽から刺激を受け、猿であるマジシャンから深い力を受け取ります。

ヘプタッド・ゲートは毎日一つずつ開きます：プライマル・フォース、アバター、ハイブリーステス、プロフェット、エンライトウンド・ワン、ヨギ/ヨギニ、無限の賢者たち。これらのアーキタイプが集まり、21 のアーキタイプの中央(垂直)列を構成します。

同様に、日々の様々なキンの経過により、様々な位置が活性化されます。そして私たちはフナブ・ク 21 の平面と呼ばれるものに入ります。

フナブ・ク 21 は、それ自体が5つのコートで構成されています。すなわち、アバター

のコート、コンパッションネット・ワンのコート、プロフェットのコート、パストファインダーのコート、そしてフナブ・ク 21 のコートもしくはマトリックスのコートと呼ばれる第 5 コートです。

これは、中央の緑とそれを囲む 4 つの城を持つ 5 つの城の配置に似ています。この 5 つの配置には人間の構造や形態も対応付けられます。宇宙曼荼羅の 5 会にも。また、実際にはホイールを関節で表現する五芒星を形作る 5 つの地球家族にも対応しています。色の氏族もあり、これは 4 つですが、それぞれ 5 つの紋章で構成されているので、同様に五芒星を形作ります。

いわゆる 5 つのエLEMENT もあります。地球(通常は立方体で表現されます)、空気、火、水、そして 5 番目のELEMENT であるスペースあるいはアカシャです。伝統では、フィフス・ELEMENT あるいはクインテッセンスへの言及もあります。クインテッセンスとは、文字通り第 5 の本質を意味しており、あらゆる形式やアイデアの最も基本的または主要な側面または品質を常に指す、物事の核心、ザ・フィフスと言うべきものです。

ハートにあるものは人間のクインテッセンスです。「問題の核心に迫らなければならない」とよく言われます。これは、私たちは真髄、中心点に行かなければならないと言っているのです。

中央、中心点の 5 を創造する 1、2、3、4 があります。

5 の最後の例です。伝統的なヨガの体系では、私たちは 5 つのボディでできています。

最も外側のボディは、栄養を与えなければならない物理的な身体、つまり物理的な外皮であり、人間の生活は食事に基づいて大きく組織されていることが分かります。午後のコーヒーの後は何をしましょうか? 等。”このボディはアンナマヤ・コーシャと呼ばれ、文字通り「食物体」を意味します。

次のプラナマヤ・コーシャ、これはエネルギー体です。私たちが呼吸、排気、吸気を練習すると、呼吸とともに入ってくる微細なエネルギーが、肉体内のエネルギー体である微細なエーテル体を作ります。

3 番目のボディはマノマヤ・コーシャ、または精神的/感情的な体で、脳に届くすべての感覚的印象を受け取り、それぞれが生きる世界を創造します。ここにいる私たちは皆、他の誰とも全く異なる世界に住んでいます。これにより、マヤと呼ばれるものが創造されます。さまざまな人々のさまざまな幻想がすべて、素晴らしいマヤの世界を創造しているのです。

そして第 4 のボディ、またはヴィジナマヤ・コーシャ、または知恵の体は、理解する能力を指す高次の心です。マノマヤ・コーシャには基本的なパターンが含まれてい

ますが、ヴィジナナマヤ・コーシャは理解する能力であり、そのために私たちは知性を使い、アイデアや情報を処理し、論理システムなどを構築します。

最後のボディは真髄のようなもので、アーナンダと呼ばれます。私たちがすべての重荷から自分自身を解放し、自分の本質に向かうとき、私たちはエクスタシー、つまり恵みの状態に達します。本当の自分を見つけたとき、私たちは大きな解放と大きな喜びと楽しみを経験します。もう「餓鬼」はいないのです。このハリウッドの幻想の世界を作り出す単なる印象機械ではなく、ただ呼吸し、生物圏を生かしているエネルギー的な体です。私は実際には、名前も定義することもできない純粋な本質にすぎません。そして、私がこのエッセンスであるとき、私は偉大な神の恵みを体験します、それがアーナンダです。実際には、それは常にここにあり、真髄は常にここにありますが、私たちは最も外側のボディの行き来に忙しすぎたり、気を取られたりして、自分自身に戻る方法を忘れています。そして、私たちが自分自身の現実に到達できなければ、他のすべては無効になります。だからこそ、私たちはいつも「問題や課題の核心に行きましょう」と言うのです。

ありがとう。

5日目終わり